

施策分析シート（平成27年度）

No1

施策名	バリアフリー化の推進	施策No	02-09	部課名	防災都市づくり部交通対策課		
関連部課名							
行政評価事業体系	分野	I	生涯健康都市				
	政策	02	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成				
目的	だれもが安全で安心して暮らしていけるよう、様々なバリアフリー化を推進する。						
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		24年度	25年度	26年度			
	① 施設のバリアフリー	-	2.75	2.74	お住まいの地域の商業施設や公共施設が、バリアフリーの面から、だれもが使いやすいと思いますか？		
	② 心のバリアフリー	-	2.95	2.90	お住まいの地域には、困っている人を見かけた時に、声を掛けたり協力したりしやすい雰囲気があると感じますか？		
	③ 生活環境の充実	-	3.21	3.13	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？		
④							
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		24年度	25年度	26年度	27年度見込み		目標値(28年度)
	① 特定事業計画（道路）の着手率（%）	25	28	30	33	35	計画着手済項目／事業計画項目
	② 特定事業計画（公共施設）の着手率（%）	27	35	38	40	45	計画着手済項目／事業計画項目
	③						
	④						
	⑤						
現状と課題（指標分析）	<p>○バリアフリー新法に基づく区全体のバリアフリー基本構想を平成21年度に策定した。その後、平成22年度に町屋駅・区役所周辺地区、平成23年度に日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区、平成24年度に南千住駅周辺地区、平成25年度に熊野前駅周辺地区と4つの重点整備地区におけるバリアフリー基本構想を策定してきた。</p> <p>○各鉄道駅施設内等の交通に関するバリアフリー化が進む中で、駅周辺地区のバリアフリー化は未だ十分ではない状況にあることから、高齢者や障がい者・子育て世代等、だれもが安全で安心して暮らせる様々なバリアフリー化を図る必要がある。</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>○各重点整備地区の基本構想に定めた特定事業計画については、平成26年度に設置した区民・学識経験者・関係事業者等から構成する「荒川区バリアフリー基本構想推進協議会」を通じて、進捗状況を管理していく。</p> <p>○区関連部課等と連携し、心のバリアフリーを更に推進していく。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
重点的に推進	重点的に推進	高齢者、障がい者等の移動や施設利用の利便性を確保するための最優先の事業である。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		25年度	26年度	27年度	28年度	
バリアフリー整備促進事業	10-03-01	7,290	95	重点的に推進	重点的に推進	高齢者、障がい者等の移動や施設利用の利便性を確保するための最優先の事業である。
合 計		7,290	95			